

岩手大学国際教育センター報告 vol. 2 (2021)

目次

国際教育センター業務報告	
教育業務報告	
日本語教育実施報告	1
英語教育実施報告	
a) 教養教育科目（英語コミュニケーション）関係	4
b) 大学院アカデミック英語	7
教養教育科目・全学共通教育科目	10
短期留学生・日本語日本文化研修留学生個別研究報告	13
多言語多文化交流空間 Global Village	14
令和3年度新入生オリエンテーション報告	18
海外留学支援事業	19
IHATOVO グローバルコース・グローバルマイレージ報告	26
フィールドスタディ	27
地域日本語教育支援事業報告	28
地域学習支援報告	30
岩手県留学生交流推進協議会事業報告	32
日本留学フェア及び外国人学生のための進学説明会等	34
岩手大学外国人留学生同窓会事業報告	37
学長と外国人留学生との懇談会	40
外国の大学との交流	41
国際交流支援コーディネータについて	48
Iwate University Global Fellow について	50
令和3年度交換留学生受入・派遣実績	51
訪問海外研修生受入実績	52
岩手大学海外派遣・留学プログラム一覧（短期研修・研究型）	53
岩手大学外国人留学生地域派遣実績一覧	56
トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム 岩手大学の採択状況	57

日本語教育実施報告

1. 授業

1.1 概要

国際教育センターでは、留学生を主な対象として、1) 大学院入学前予備教育日本語研修コース、2) 国際教育科目日本語、3) 教養教育外国語科目日本語、の3種の日本語教育科目を前後期それぞれ提供している(授業科目は下表を参照)。受講者には、学期開始時前にオンラインプレースメントテスト受験とオリエンテーション参加を義務づけ、オリエンテーションでは、英語、中国語の通訳を介し、講義の概要、受講方法等の説明を行った。受講者は各自のプレースメントテストの結果のレベルの授業の中から授業を選択し、受講した。

1.2 授業概要

< 日本語研修コース >

日本語研修コースは、文部科学省国費留学生入学前予備教育と国際教育科目を兼ねて開講されている。1 学期あたりの総学習時間は 340 単位時間で、初級終了を目指す。教科書は、『ひとりで学べるひらがな・カタカナ』(スリーエーネットワーク)と、『A New Approach to Elementary Japanese』Vol.1,2(くろしお出版)を使用している。授業スケジュール、担当者は以下の通りである。

	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)
総合(8:50-12:10)	総合(坂本)	総合(松林)	コミュニケーション(松岡)	総合(坂本)	総合(松林)
漢字(13:00-14:00)		漢字(坂本)		漢字(松林)	

前期は、COVID19の影響でオンライン授業となったが、JICAプログラム大学院生2名は5月中旬来日後、対面授業に移行した。後期は全面対面にて授業を行った。評価は修了発表プレゼンテーションおよび筆記試験により行った。

< 国際教育科目日本語科目 >

前後期とも、COVID19の影響により未入国の学生がいた関係で、対面・オンラインのハイブリッド授業を実施した。

初級日本語 (初修者対象)

科目名	内 容	時間	担当
文 法	初歩的な文法、語彙等の学習。テキスト:『まるごと A1 りかい』(三修館)	水 1	加藤
会 話	日常生活で使う簡単な会話学習。テキスト:『まるごと A1 かつどう』(三修館)	木 3	佐々木
読 解	かな、簡単な漢字の読み、および簡単な文章読解の学習。(ハンドアウト)	金 2	大高

初級日本語 (150 時間程度学習した人対象。日本語能力試験 N4 レベル)

科目名	内 容	時間	担当
文 法	初級後半の文法学習。テキスト:『まるごと A2 初級 りかい』(三修館)	月 1・ 2	大高
漢 字	『にほんごチャレンジかんじ・ごいN4 / 5ほか』	木 2	佐々木
会 話	日常生活のやや長い会話学習。テキスト:『まるごと A2 初級』(三修館)	木 1	佐藤

中級日本語 (300 時間程度学習した人対象。日本語能力試験 N3レベル)

科目名	内 容	時間	担当
文法	初級レベルの復習、中級前半レベルの文法学習。テキスト:『短期集中初級日本語文法総まとめポイント20』、『中級日本語文法整理ポイント20』(アルク)	月木 1	松岡
会 話	日常生活や大学生活に必要な基礎的な会話学習。 テキスト:『聞いて覚える話し方 - 日本語生中継初中級1』(アルク)	月 2	加藤
読 解	アカデミック文章読解基礎。テキスト:『大学・大学院留学生の日本語1読解編』(アルク)	火 4	松林
作 文	アカデミック文章作成基礎。『大学・大学院留学生の日本語1作文編』(アルク)	火 2	坂本
漢 字	中級前半レベルの漢字学習。『日本語総まとめ 漢字N3』(アスク)	木 2	松林

中級日本語 (450 時間程度学習した人対象。日本語能力試験 N2レベル)

会 話	大学生活(研究室、授業等)に必要なやや高度な日本語の会話学習。 テキスト:『聞いて覚える話し方日本語生中継中上級編』(くろしお出版)	月 1	加藤
読 解	やや高度なアカデミックな文章の読解学習。 テキスト:『留学生のための読解トレーニング』(凡人社)	木 4	佐々木
文 法	日本語能力試験N2程度の文法学習。 テキスト:『中級日本語文法整理ポイント20』(スリーエーネットワーク)	水 2	加藤
作 文	やや高度な文章作成方法学習。テキスト:ハンドアウト	火 3	加藤
漢 字	やや高度な漢字・語彙学習。テキスト:『日本語総まとめ N2 漢字』(アスク)	水 3	大高
アカデミック 日本語	日本語能力試験N2対策。 テキスト:『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN2』(アルク)	木 4	松林

上級日本語 (600 時間程度学習した人対象。日本語能力試験 N1レベル以上)

ビジネス 日本語	600 時間程度以上学習した人が対象。仕事で使う日本語表現学習。 テキスト:『日本企業への就職 - ビジネスマナーと基本のことば』(アスク)	月 3	坂本
アカデミック 日本語	600 時間程度以上学習した人が対象。日本語能力試験N1対策学習。 テキスト:『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN1』(アルク)	金 4	坂本

< 教養教育 外国語科目 > (600 時間程度学習した人対象。日本語能力試験 N1レベル以上)

上級日本語 A・E (口頭表現)	前期は討論、後期は発表の口頭表現能力を養成する。 テキスト:ハンドアウト	月 4	松岡
上級日本語 B・F (論文作成)	600 時間程度以上学習した人が対象。大学の学習、研究に必要なレポート、論文作成学習。 テキスト:(前期)大学・大学院留学生の日本語4論文作成編(アルク)	水 4	加藤
上級日本語 C・G(文系)	600 時間程度以上学習した人が対象。前期は、文系分野で使われる基礎的な語彙力、後期は文系の専門分野別日本語表現学習。 テキスト:ハンドアウト	木 3	加藤
上級日本語 C・G(理系)	600 時間程度以上学習した人が対象。実験、レポート等、理系分野で使われる専門基礎用語、表現力学習。テキスト:ハンドアウト	金 1	大高
上級日本 D・H(読解)	600 時間程度以上学習した人が対象。授業、研究、日常生活で接触する文字情報の読解力学習。テキスト:大学・大学院留学生の日本語3論文読解編(アルク)	金 2	D 菊池 H 大高

* 時間数は各学期分。A,B,C,D は前期、E,F,G,H は後期開講科目。

* 農、理工学部正規留学生日本語履修者は上級日本語C, G(理系)が必修。

1.3 実施状況

	交換留学・日研生		総合科学研究科		学部正規		院生・研究生等	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
日本語研修コース							4	2
初級日本語 文法		2					2	3
初級日本語 表記・読解	1	1					3	3
初級日本語 会話	1	1					3	2
初級日本語 文法		1	1				5	3
初級日本語 漢字		1	1				5	3
初級日本語 会話		1	1	2			4	2
中級日本語 文法	3	2					3	4
中級日本語 会話	3	2					5	6
中級日本語 作文	2	2					3	4
中級日本語 読解	3	2	2				5	4
中級日本語 漢字	1	2					4	3
中級日本語 文法		2					5	5
中級日本語 会話		2	1				2	3
中級日本語 読解		2					3	3
中級日本語 作文		1					3	4
中級日本語 漢字		2					2	5
中級日本語 アカデミック		2					2	4
上級日本語ビジネス	1	1	5					2
上級日本語アカデミック	1		2	1		2	4	3
上級日本語 A・E(口頭)	7	2	1	2	3	7	6	6
上級日本語 B・F(論文作成)	1	1	5	2			8	6
上級日本語 C・G(理系)			2		7	6		1
上級日本語 C・G(文系)							3	
上級日本語 D・H(読解)		2						2
小計	24	34	21	7	10	15	84	83
合計	前期 139		後期 139				合計 278	

*総合研究科:大学院総合研究科「アカデミック日本語」として単位認定

*院生・研究生等:大学院生、研究生、岩手県立大学留学生、学生・教員の家族等。単位認定はしない

2.課外

<留学生個別日本語学習支援>

指導教員から日本語指導の要望があった総合科学研究科留学生2名の個別修士論文作成支援を日本語教育専攻の大学院生が春季休暇中に行った。

(報告:松岡洋子)

英語教育実施報告

a) 教養教育科目(英語コミュニケーション)関係

1. Re-organizing English Communication courses

In 2021 988 students enrolled in English classes from all four faculties. In order to try to make more robust courses, we made changes to the English communication courses for 1st year students at Iwate university. Along with our yearly teacher training in February, two major changes which took place was 1) changing the days on which courses are available and 2) hiring a full-time teacher.

2. Teacher training

On February 12th we conducted training for all the part-time English teachers. 10 out of 13 part-time teachers attended. During the training we not only discussed goals and outcomes of the English communication classes, but we also allowed other teachers to demonstrate technology they used in the classroom that we deemed beneficial if the other teachers used them. One such tool was Padlet, a share board that allowed for meaningful English engagement for the students. Because there was an interest in the program our department paid ¥100,000 for 1-year subscriptions for the 8 teachers who showed interest.

3. 教養教育の英語コミュニケーションのコマ数増設

前年度からの継続審議の中で、英語コミュニケーションと英語総合の提供コマ数が対象となる学生数に対して少ないことが問題であることが認識された。教養教育担当理事を始め関係者との協議を重ね、学生の英語コミュニケーション力向上のためにはクラスサイズを小さくする必要があること、曜日と時限によって同時に10名以上の担当者を必要とする現状では、授業の質保証が難しいので平準化する必要があることなどの問題点が共有された。これまで、「教養教育授業帯」として教養教育の授業を集中させていた時間帯以外にも教養教育の英語を設定可能な授業時間を各学部の教務担当教員に交渉し、いくつか増設が可能となった。その結果がページ最後に掲載した図である。

4. 英語コミュニケーション担当教員の新規採用

授業コマ数の「帯」以外での増設の他に、これまではいわゆる「寄り合い所帯」であった英語コミュニケーションの担当者をチームとして再編することとなった。英語コミュニケーション担当の特任助教2名の採用について予算措置がされたため、以下のスケジュールで候補者選考を行った。

国際教育センター特任助教(英語コミュニケーション)候補者選考スケジュール

月日	事項
6月16日(水)	公募要領決定
6月17日(木)~7月21日(水)	公募
7月26日(月)~7月28日(水)	応募書類縦覧
7月29日(水)~8月4日(水)	書類選考(第1次)
8月17日(火)~8月20日(金)	面接(第2次選考)、最終候補者決定
8月下旬~9月上旬	候補者決定、採用決定
9月上旬	選考結果通知、採用上申
10月1日	採用

辞退者などが出たため、1名のみ採用とし、13名の非常勤講師数は11名に削減できた。もう一人の雇用については年度終わりに再度準備を進め、令和4年度に採用する予定である。

SPRING 前期 2020					
Tuesday 1	Wednesday 2 3		Thursday 3	Friday 1 2	
Comm 1	Comm 1	Comm 1	Comm 1	Comm 2	Comm 2
上級 Malcome	上級 Rutella	上級 Kevin	上級 Benjamin	上級 Dan	上級 Dan
x	Peggy	x	x	x	x
x	Jacob	x	x	x	x
中級	中級	中級	中級	中級	中級
Simone	Simon	Simon	Peggy	Malcome	Angerhofer
Dan	Hamish	Peggy	Kevin	Angerhofer	Ken
James	Benjamin	Ken	x	Ken	x
x	Malcome	x	x	x	x
x	Ken	x	x	x	x
x	James	x	x	x	x
初級	初級	初級	初級	初級	初級
Kevin	Lupsa	James	Ann	Rutella	Simone
Rutella	Angerhofer	Kathryn	x	Simone	x
x	Kevin	x	x	x	x
x	Ann	x	x	x	x

FALL 後期 2020					
Tuesday 1	Wednesday 2 3		Thursday 3	Friday 1 2	
Comm 1	Comm 2	Comm 2	Comm 1	Comm 2	Comm 2
上級 Simone	上級 Peggy	上級 Peggy	上級 Benjamin	上級 Simone	上級 Simone
x	Jacob	x	x	x	x
x	Hamish	x	x	x	x
中級	中級	中級	中級	中級	中級
Rutella	Simon	James	Peggy	Malcome	Malcome
James	Benjamin	Simon	Ann	Ken	Ken
Dan	Ken	Ken	x	Angerhofer	x
x	Rutella	x	x	x	x
x	James	x	x	x	x
x	Angerhofer	x	x	x	x
初級	初級	初級	初級	初級	初級
Malcome	Malcome	Kevin	Kevin	Rutella	Dan
Kevin	Ann	Kathryn	x	Dan	x
x	Kevin	x	x	x	x
x	Lupsa	x	x	x	x



Spring 前期 2021

Monday 1 Comm 1 上級	Tuesday 1* Comm 1 上級	Wednesday 2* Comm 1 上級		3* Comm 1 上級	Thursday 3* Comm 1 上級	Friday 1* Comm 2 上級		2* Comm 1 上級
Jeff Martin	Dan Newbury	Ken Asano	Ken Asano	Benjamin Blair	Ken Asano	Ken Asano		Ken Asano
		Hamish Smith						
中級	中級	中級	中級	中級	中級	中級	中級	中級
Simon Townsend Simone Higuchi	Simone Higuchi Jacob Malcome Larcens	Simon Townsend Malcome Larcens Peggy Ishikawa Benjamin Blair	Simon Townsend Ann Sagawa Peggy Ishikawa	Peggy Ishikawa Ann Sagawa	Ann Sagawa	Simone Higuchi Dan Newbury Joe Angerhofer	Simone Higuchi Dan Newbury	
初級	初級	初級	初級	初級	初級	初級	初級	初級
Kevin Short James Hiyama	Kevin Short James Hiyama	Joe Angerhofer Kevin Short	Kathryn Akasaka Kevin Short	Kevin Short	Kevin Short	Kevin Short Malcome Larcens	Joe Angerhofer	

Fall 後期 2021

Tuesday 1* Comm 1 上級		5* Comm 1 上級		Wednesday 2* Comm 1 上級		3* Comm 1 上級		Thursday 3 Comm 1 上級	Friday 1* Comm 2 上級		2* Comm 1 上級
Dan Newbury		Jeff		Ken Asano	Simon Townsend	Ann Sagawa		Ann Sagawa	Ken Asano	Joe Angerhofer	
				Hamish Smith							
中級	中級	中級	中級	中級	中級	中級	中級	中級	中級	中級	中級
Malcome Larcens Simone Higuchi New Teacher 1	Simone Higuchi Ken Asano	Benjamin Blair Simon Townsend Joe Angerhofer Peggy Ishikawa	Peggy Ishikawa Ken Asano	Benjamin Blair Ken Asano Peggy Ishikawa	Ann Sagawa	Benjamin Blair Peggy Ishikawa	Malcome Larcens Simone Higuchi Dan Newbury	Ann Sagawa	Simone Higuchi Dan Newbury	Joe Angerhofer	Dan Newbury Ken Asano
初級	初級	初級	初級	初級	初級	初級	初級	初級	初級	初級	初級
Kevin Short James Hiyama	Kathryn Akasaka James Hiyama	Malcome Larcens Ann Sagawa	Kevin Short Kathryn Akasaka	Kevin Short	Kevin Short	Kevin Short	Joe Angerhofer New Teacher 2	Kevin Short	Joe Angerhofer New Teacher 2	Simone Higuchi	Simone Higuchi

(報告: ピーターセン ジェイコブ、尾中夏美)

b) 大学院アカデミック英語

1. アカデミック英語

アカデミック英語は、国際教育センターが所掌している。大学院生を対象として、入学時に実施する CASEC を用いた事前プレースメントテストのスコアに基づいて CEFR A2 と B1, B2 にクラス分けしている。現時点で B2 レベルの学生はいない。月曜日と木曜日の Academic English A2 レベルは学部 2 年生以上が履修する英語発展と共通になっている。後期 1 限目のアカデミック英語は院生対応の実用的なライティングコースとしている。提供時間割、担当者、履修者数は以下の通りである。

前期

コマ	月	水		木	金
1		Academic English (L&S) A2 (4 名) 農学部優先 Simon Townsend	Academic English (L&S) B1(3 名) Natsumi Onaka	Academic English (L&S) B2(0 名) Natsumi Onaka	
2	Academic English (R&W) A2 (3 名) Eigo Hatten G (6 名) Simon Townsend			Academic English (L&S) A2(3 名) Eigo Hatten E (3 名) Simon Townsend	
3					
4					Academic English (R&W) A2 (8 名) 理工学部優先 Daniel Newbury

後期

コマ	月	火	水	木		金
1			Academic English (Academic Writing) A2 (4名) 理工学部優先 Ken Asano			
2	Academic English (R&W) A2 (3名) Eigo Hatten H(1名) Simon Townsend			Academic English (L&S) A2 (3名) Eigo Hatten F(2名) Simon Townsend	Academic English (R&W) B2 (0名) Natsumi Onaka	
3		Academic English (R&W) B1 (3名) Natsumi Onaka				
4						Academic English (L&S) A2 (2名) 理工学部優先 Daniel Newbury

2. 使用テキスト

A2 レベル

Unlock: Listening, Speaking & Critical Thinking Level 2 2nd Edition by Cambridge University Press

Unlock: Reading, Writing & Critical Thinking Level 2 2nd Edition by Cambridge University Press

B1 レベル

Unlock: Listening, Speaking & Critical Thinking Level 3 2nd Edition by Cambridge University Press

Unlock: Reading, Writing & Critical Thinking Level 3 2nd Edition by Cambridge University Press

3. 質保証と標準化のための取り組み

担当者間で質保証のために学期終了後に打ち合わせ会を設け、基本的に対面で授業運営上の問題点や新たな試みなどを共有し、授業スケジュールや評価について共通の指標を用いている。

報告：尾中夏美

教養教育科目・全学共通教育科目

3.1 多文化コミュニケーション A・B

日本人学生、外国人留学生共修科目である多文化コミュニケーションA(前期)、多文化コミュニケーションB(後期)では、多文化社会におけるコミュニケーション課題をトピックとして取り上げ、討論、共同作業を通じた実践的な授業を行った。授業は、グローバル教育センター(国際教育センター)専任教員2名(松岡・尾中)が担当した。本授業は留学生、日本人学生各20名計40名の受講を基本としているが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、滞日留学生数が減少したことに加え、感染予防の観点から、受講者数を25名に制限した。

前期(多文化コミュニケーションA)には、例年、二戸市教育委員会主催の中学生異文化交流事業と合同合宿を実施してきたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、今年度は本学と二戸市立福岡中学校、韓国(理工学部2年次)、マレーシア(理工学部1年次)をオンラインで結び、ハイブリッド形式での共同作業を行った。インターネット接続環境に課題が見られたが、距離を超えて共同作業を実現させた取り組みとなった。

後期(多文化コミュニケーションB)は、感染状況が落ち着いていたことにより今年度は岩手大学単独で合宿研修(岩手山青少年交流の家)も組み込み授業を実施した。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、留学生の入国制限があり、履修対象留学生が激減したため、留学生の日本人学生のバランスが取れない状態での授業となったが、オンラインも活用しながら、共修科目としての授業目的は達成された。

(報告:松岡洋子)

3.2 現代の諸問題

前期の副題は「教育とグローバル化」で、54 人の履修者がいた。オンラインツールの使用方法解説などオリエンテーション後に酒造会社部長、陸前高田企画株式会社代表、大槌の NPO 事務局長、トビタテ！留学 Japan 体験者である先輩 2 名などをグローバルな場で活躍するゲストスピーカーとして招き、各講演の間にグループによるポスター発表を ZOOM の録画機能を活用して録画。この録画作品を学生同士が相互評価するという作業を実施した。そのうち 4 組のグローバル人材についての分析を 4 分間でチームでの口頭発表を録画してループリックに沿って相互評価を行った。最後に、ゲストスピーカーからの学びをベースに、各自が身に付けたい技能や知識をどのように大学在学中に身に付けるか、行動計画を 3~4 分間の動画にまとめて最終課題とした。

後期の副題は「英語討論入門」である。今年度は交換留学生在がコロナ禍のためゼロであったため、アラスカ大学アンカレジ校の原田先生と相談し、Collaborative Online International Program (COIL)を実施することとした。UAA は日本語授業であるため、日本語ネイティブとの会話を重視しているので、UAA 学生は日本語で、岩大生は英語でコミュニケーションをとることとし、「自国の再発見」をテーマにスキットを共同制作するというプロジェクトを実施した。12 月初旬で UAA は授業が終了したので、その後は UAA の学生が岩手大学に交換留学で来たくするような岩大紹介動画を英語で制作するという課題を実施した。

報告：尾中夏美

3.3 課題発展型演習

当初履修生 8 名だったが、最終的に 7 名となった。この授業では、トビタテ！留学 Japan の申請用紙を使って、わかりやすい申請書を作成するという作業を通して、アイデアを具体的に表現する手法や今後様々な場面で作成することになる「申請書」はどのように書けばよいかをゼミ方式で習得させた。学生は各々異なったテーマの申請書類作成だったが、回し読みをしながらコメントを書いていくうちに「良い申請書」「悪い・ぼやけた申請書」について具体的に理解を深めたようであった。

報告：尾中夏美

海外研修 - 世界から地域を考えるー

3名が履修した。これまでフィリピンのセブにおいて「貧困と持続可能な社会」をテーマに事前事後研修と海外研修で実施してきたが、コロナ禍により短期海外研修が実施できなくなったため、事前事後研修と海外研修の内容を織り交ぜた授業構成として実施した。

回	日程	内容
1	4月16日	オリエンテーション
2	4月23日	「貧困」とは何かについて。所得格差は個人の責任(努力不足)か
3	4月30日	貧困の種類と貧困状態に陥る様々な社会現象についてディスカッション
4	5月14日	子ども食堂について学ぶ。事前研修
5	5月21日	インクルいわて理事長山屋理恵さんによる講演
6	5月28日	講演について振り返り
7	6月4日	Bidlisiw Foundation 講演にむけての事前研修
8	6月11日	Bidlisiw Foundation によるオンライン研修 活動紹介とコロナ禍の現状
9	6月18日	オンライン研修 振り返り
10	6月25日	Bidlisiw Foundation によるオンライン研修 当事者による体験談紹介
11	7月2日	オンライン研修 振り返り
12	7月9日	日比の比較から見る貧困の原因となる要素について考える
13	7月16日	格差を少なくするための方策について、グループワーク
14	7月23日	最終プレゼンテーションとまとめ

学生たちには授業でのディスカッションや講演以外に、課題として Moodle に搭載された英語資料の課題と3冊の関連書籍のブックレポートを与えた。

報告: 尾中夏美

4.1 短期留学生・日本語日本文化研修留学生個別研究報告

4.1.1 概要

交換留学文系コースおよび日本語日本文化研修留学生に対する必修科目として「個別研究」を課している。専任教員2名の指導・助言の元、研究し、口頭発表を行う科目である。なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響により今年度の対象者は交換留学生1名のみで、後期は履修対象学生がいなかった。

4.1.2 研究テーマ

前期履修学生の研究テーマは以下の通りである。

前期（発表：2021年7月中旬に実施）	
所属	研究課題
タイ・サイアム大学	日本の教師は学校でLGBTQの生徒をどのようにサポートしているか

4.1.3 現状と今後の展開

短期留学の成果として、まとまった研究を実施することに大きな意義がある。しかし、昨年度と今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きく、交換留学生、日本語日本文化研修留学生の来日が叶わなかったため1名のみを受講となった。次年度以降、徐々に留学生が増加することが予想されるが、これに比して、指導担当教員が減少しているため、科目の実施方法について継続のための検討が必要となる。

（報告：松岡洋子）

多言語多文化交流空間 Global Village

1. 全体の総括

多言語多文化交流空間 Iwate University Global Village(以下グローバルビレッジ)では、グローバルイベント(国際交流・異文化理解・地域理解)、日本語カフェ(日本語で留学生と会話、交流)、All in English(英語での交流会)、日本語勉強ルーム、English Study Roomを実施した。昨年度に引き続き新型コロナウイルスの影響で、活動形態、参加人数等を制限認め、参加者数と活動回数とともに減少した。全学部からの参加者数はのべ 913 名である(表 1、参加者別の割合は図1参照)。移動制限下にあっても、キャンパスのグローバル化に資する国際交流・国際共修の場を構築している。

表 1 2022 年度グローバルビレッジ活動開催回数と参加者数(延数)

	グローバルイベント	日本語カフェ	All in English	日本語勉強ルーム	English Study Room	合計
開催回数	36	28	31	16	23	134 回
参加者総数	239	247	265	76	86	913 名
内留学生総数	29	63	23	47	19	181 名
内日本人学生総数	152	162	213	26	54	607 名
内院生数	21	21	22	2	4	70 名
内一般参加者総数	37	1	7	1	9	55 名

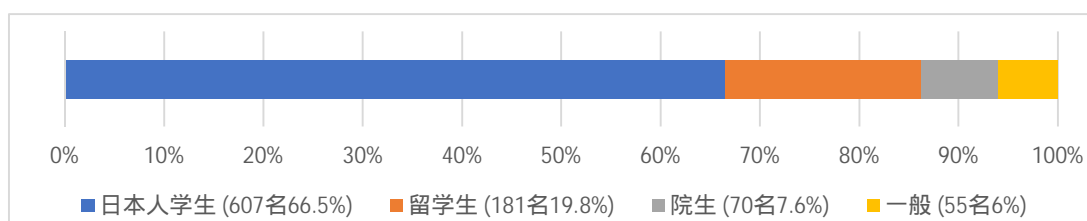


図1 グローバルビレッジ参加者割合

2. グローカルイベント

今年度は 36 のイベント(前期 8 回、後期 28 回)を実施した(参考資料: グローカルイベントの活動一覧参照)。

イベント内容は、英語力向上を目的とした複数回の講座や国際教養を深めるためのセミナー、日本文化を伝える生け花ワークショップなど多岐に及び、新型コロナウイルスの影響でイベント実施回数自体は減少したものの、一部をオンライン開催するなどの対策がなされた。

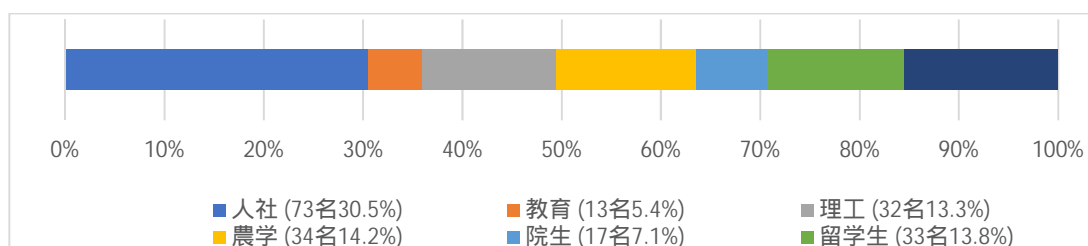


図2 グローバルビレッジイベント参加所属別割合

3. 日本語カフェ

留学生と日本人学生が集い、日本語で交流するという趣旨の本事業は、今年度 28 回行われ、参加者は延べ 247 名であった（図3）。

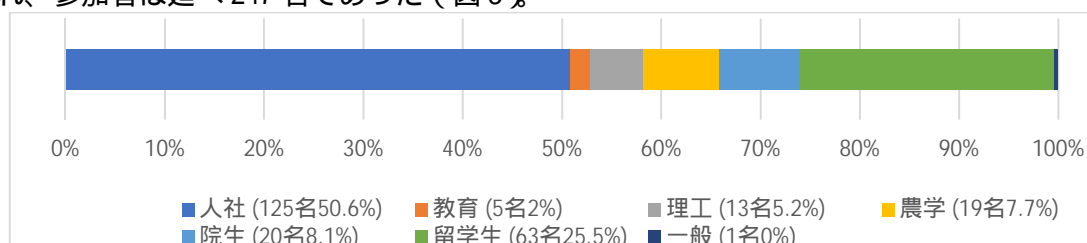


図3 日本語カフェ参加者所属別割合

4. All in English

英語のコミュニケーション能力の向上を目的としたAll in Englishは前、後期合わせて31回開催され、全体で延べ265人が参加した。（図5）感染予防のためオンラインでの実施が主であったが、一つのイベントとしてGV全体の3割近くもの参加者を占めたことは特筆すべき点である。

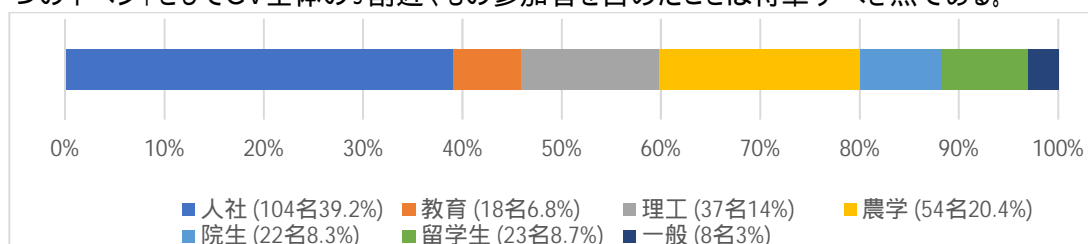


図4 英語関係イベント参加者所属別割合

5. 日本語べんきょうルーム

留学生の日本語学習および学習上の日本語上の課題を個別に支援することを目的に、今年度から大学院生を中心とした日本語べんきょうルームを週1回開催した。開催数は16回、参加人数は延べ76名であった（図5参照）。コロナ禍の影響で留学生数が減少している状況ではあったが、一定のニーズがあることが明らかになり、次年度以降の継続と実施形態、支援者研修などの検討を行う予定である。

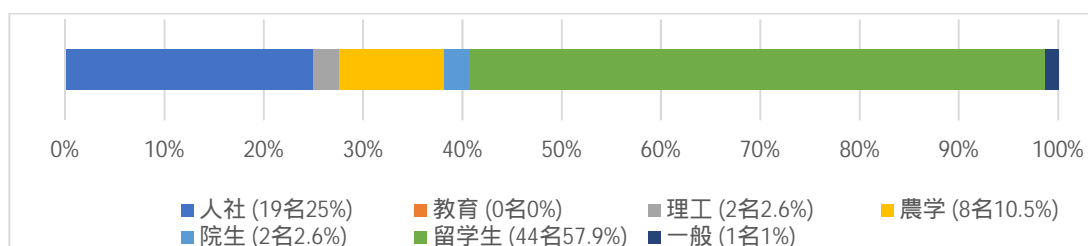


図5 日本語べんきょうルーム参加者所属別割合

6. English Study Room

英語のコミュニケーション能力の向上を目的とし、英語ネイティブ教員と30分間、会話、プレゼンテーション指導などを個別に行った。前、後期合わせて23回開催され、全体でのべ86人が参加した(図6参照)。基本的にはコロナ感染対策をとりながら、対面で実施したが、海外留学・研修を希望する学生のニーズが高く、継続実施の予定である。

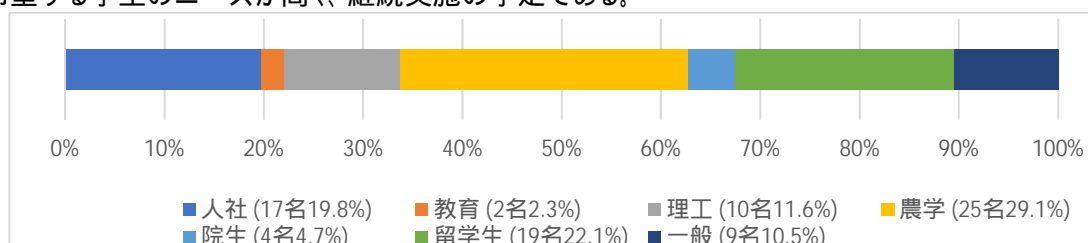


図6 English study room 参加者所属別割合

7. まとめ

新型コロナウイルス感染症拡大によりイベント実施が難しい状況下、感染対策を徹底しながら、対面、ハイブリッド、オンラインで実施してきた。専従スタッフが常駐しながら、学生スタッフと協働しながら、各種イベントを展開できたが、オンラインで参加する場合、学内に滞在中の学生にとっては参加のための静寂な環境を得ることが困難であることが課題となった。次年度以降も感染症の影響が残ることが予想されるが、可能な範囲で対面実施できるよう環境を整えたい。

参考資料 グローカルイベント活動一覧

日時	企画名
前期	
4/19～30	GV 説明会 全4回
6/22～7/1	海外経験共有講座 全2回
6/25	GV ブックカフェ
7/13	外国人交換留学生による個別研究発表
後期	
10/18～10/29	GV 説明会 全3回
10/19～10/26	ルーカス先生歓迎会 全2回

10/20～12/1	生け花ワークショップ 全5回
11/1	留学体験報告会
11/4	冬の過ごし方セミナー
11/4～11/15	センパイトーク 全2回
11/8～12/22	VR 体験イベント 全2回
11/11	IELTS 説明会
11/11	TOEFL 説明会
11/26	English Speech Contest
11/17～11/24	海外経験共有講座 全2回
12/7	年末年始がちょっと楽しくなる講座
12/14	A Christmas Abroad
12/21	留学生ふるさと紹介
2022/1/6	書初めワークショップ [HLM1]

(報告: 星野ルーカス・松岡洋子)

令和3年度新入生オリエンテーション報告

1. 実施したオリエンテーション等

・留学生オリエンテーション

令和3年度前期は令和3年4月9日(金)、銀河ホールを会場に新型コロナウイルス感染症対策をしたうえで、例年通り対面で国際課及び保健管理センターから、新入生に必要な手続き及び日本での生活や履修登録等について説明を行った。しかし、外部からの参加は避けるため、盛岡東警察署からの生活上の注意点に関する説明は資料配布のみとした。説明は国際教育センター及び国際課教職員が英語及び中国語の同時通訳を行った。対象者は14名であった。

後期は令和3年9月30日(木)、前期同様に銀河ホールを会場に対面で国際課及び保健管理センターから、新入生に必要な手続き及び日本での生活や履修登録等について説明を行った。新型コロナウイルス感染症予防の観点から外部からの参加は避け、盛岡東警察署からの生活上の注意点に関する説明は資料配布のみとした。説明は国際教育センター及び国際課教職員が英語及び中国語の同時通訳を行った。対象者は5名であった。

・チューターオリエンテーション

令和3年度前期は令和3年4月27日(火)、後期は令和3年10月12日(火)に学生センターB棟2階GB21講義室を会場に新型コロナウイルス感染症対策をしたうえで、例年通り、対面で、留学生チューターを行う学生に対して、制度の概要説明、注意事項及び手続きについて説明を行った。

上記2点のオリエンテーションに加え、例年キャンパスツアー及びライブラリーツアーを実施し、岩手大学キャンパス内の各施設の位置確認や利用方法の解説を行っているが、令和3年度は実施を見送った。交換留学生対象のオリエンテーション及び開講式は対象者がいなかったため実施しなかった。

海外留学支援事業

海外の大学との学生交流や様々な海外研修プログラムについての情報提供の場として以下の事業を実施した。

1. 留学説明会と実施状況

コロナ禍の影響のため、短期海外研修やトビタテ！留学 Japan などのプログラム全てが停止状態であったため、オンラインでの体験発表等が中心となり、説明会は実施しなかった。交換留学プログラムも停止状態であったが、米国の協定大学であるテキサス大学オースチン校では平常授業が再開されたため、2022年1月より1学期間1人(人文社会科学部)が派遣された。

2. ICT

Our department manages and maintains the ICT platform of Moodle. In September of 2021 we upgraded from version 3.7 to version 3.9. The process went smoothly with no issues.

Due to COVID-19, we had all classes taught online the first semester of 2020. Even after we went back to face-to-face classes, many teachers have continued to use Moodle during the school year in 2021.

Currently Moodle is mostly used for English classes. Every year we enroll 1st year students into the system, which last year was 1,432 students. We have 347 courses, which is a combination of active courses, test courses, repositories, or other special situations. There are 8,902 users enrolled in Moodle. There are more users than students on campus because we delete users after 7 years, there are repeat users (undergrad and graduate), and we also teacher accounts.

(報告:ピーターセン ジェイコブ)

3. 個別留学相談

個別留学相談は学生それぞれで異なる空き時間に個別対応するため、不定期に実施している。相談受付のポスターは常時掲示しているので、希望者は国際課を通すか直接メールで相談時間を予約する。新型コロナウイルス感染症対策のため、海外派遣プログラムが全国的に停止したため、令和3年度は延べ件数として交換留学関係13件、英語学習関係6件、トビタテ！留学 Japan 関係8件、

海外研修一般情報収集 12 件、国際インターンシップ関係 1 件であった。相談者の属性は以下のとおりである。

表 1. 所属別相談者数

学部	人文学部	教育学部	理工学部	農学部
学部生	11 人	2 人	9 人	4 人
院生	0	0	0 人	1

4. Super English, Step-up English, Foundation of English

留学や海外研修を目指す学生の英語基礎トレーニングコースとしてステップ・アップ・イングリッシュを実施し、またこのコース修了者で一定レベルに達した学生対象に、TOEFLiBT®で交換留学が可能となるレベルに到達させることを目標とする Super English を実施している。1 学期 11 週間開講し、英語力で一定条件を満たす学生が Step-up English を履修できる。受講者内訳は以下の通りである。

表 2. 受講者数(内数で院生)

		令和 3 年度前期					令和 3 年度後期				
SUE	所属学部	人社	教育	理工学	農学	合計	人社	教育	理工学	農学	合計
	人数	0	0	4(2)	2	6	1	0	4(1)	2	7
SE	所属学部	人社	教育	理工学	農学	合計	人社	教育	理工学	農学	合計
	人数	2	0	0	0	2	0	0	0	1	1

(報告: 尾中夏美)

4. Foundation of English

During the first semester we had 12 students partaking. And in the second semester we had 19 students. I also ran a special type of Foundation of English specifically focused on students planning to study abroad. This session had 5 students.

The faculty breakdown for Foundation of English:

- Education 0
- Humanities 11
- Science & Engineering 3
- Agriculture 5

The faculty breakdown for study abroad Foundation of English:

- Education 0
- Humanities 5
- Science & Engineering 0
- Agriculture 0

(報告:ピーターセン ジェイコブ)

5 . English Time

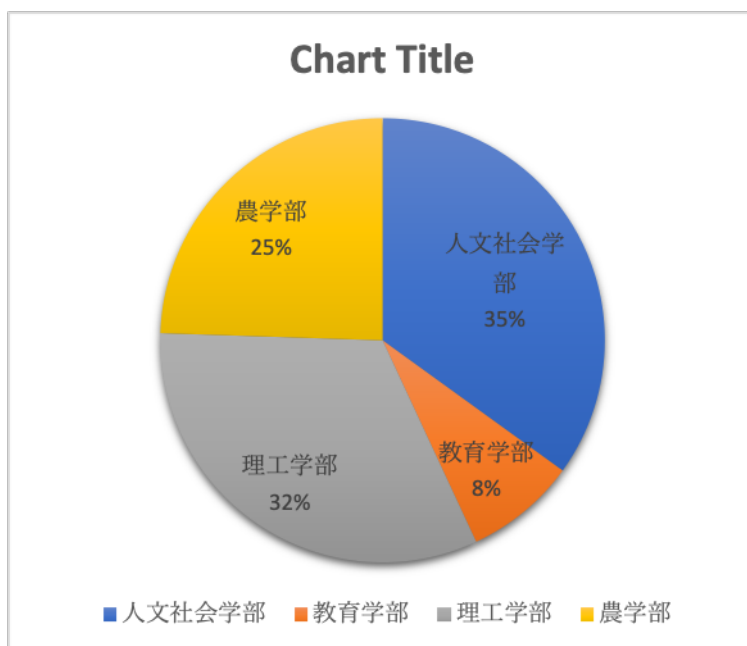
(報告:ピーターセン ジェイコブ)

R3 年度前期は下記の日程で、全 xxx 回(640 コマ)行われ、参加者数は延べ 82 人です。

開催月	開催日
4 月	1 日(3 回),2 日(3 回),5 日(1 回),6 日(4 回),7 日(2 回),8 日(3 回),9 日(5 回),12 日(2 回), 13 日(3 回),14 日(4 回),15 日(3 回),16 日(5 回),19 日(2 回),20 日(4 回),21 日(2 回),22 日(3 回)23 日 (4 回),26 日(4 回),27 日(4 回),28 日(4 回),30 日(6 回)
5 月	6 日(3 回),10 日(4 回),11 日(4 回),12 日(2 回),13 日(3 回),14 日(6 回),17 日(3 回),18 日(4 回),19 日(4 回), 20 日(2 回),21 日(4 回),24 日(3 回),25 日(4 回),26 日(2 回),27 日(3 回),28 日(6 回),31 日(4 回)
6 月	1 日(3 回),2 日(4 回),5 日(4 回),6 日(3 回),7 日(2 回),8 日(4 回),9 日(6 回),12 日(4 回), 13 日(2 回),14 日(2 回),15 日(2 回),16 日(4 回),19 日(4 回),20 日(2 回),21 日(4 回),22 日(3 回), 23 日(5 回),26 日(3 回),27 日(3 回),28 日(1 回), 29 日(4 回),30 日(5 回)
7 月	1 日(4 回),2 日(6 回),3 日(1 回),7 日(2 回),8 日(2 回),9 日(3 回),10 日(2 回),14 日,15 日, 16 日(3 回),17 日(2 回),21 日(3 回),22 日,23 日(3 回),24 日,28 日,29 日,30 日(3 回),31 日
9 月	7 日(3 回),10 日(4 回),14 日(3 回),17 日(3 回),21 日(3 回),28 日(4 回),30 日(2 回)
10 月	4 日(1 回), 5 日(5 回), 7 日(6 回), 8 日(4 回), 11 日(3 回), 12 日(8 回), 13 日(3 回), 14 日(8 回), 15 日 (4 回), 18 日(4 回), 19 日(5 回), 20 日(3 回), 21 日(6 回), 22 日(5 回), 25 日(4 回), 26 日(8 回), 27 日 (1 回), 28 日(9 回), 29 日(6 回)
11 月	1 日(7 回),2 日(7 回),4 日(6 回),5 日(6 回),8 日(5 回),9 日(4 回),10 日(5 回),11 日(8 回), 12 日(6 回),15 日(5 回),16 日(6 回),17 日(6 回),18 日(12 回),22 日(6 回),24 日(5 回),25 日(10 回), 26 日(6 回), 29 日(8 回), 30 日(4 回)
12 月	1 日(4 回), 2 日(12 回),3 日(6 回),6 日(6 回),7 日(6 回),8 日(4 回),9 日(9 回),10 日(5 回),13 日(4 回),14 日(4 回),15 日(4 回),16 日(10 回),17 日(6 回),20 日(4 回),21 日(3 回),22 日(2 回),23 日(10 回)
1 月	5 日(3 回),6 日(5 回),7 日(4 回),11 日(7 回),12 日(5 回),17 日(4 回),18 日(3 回),19 日(3 回),20 日(7

回),21日(6回),24日(3回),25日(4回),26日(3回),27日(6回),28日(5回),31日(1回)

	English Time
開催回数	640
参加者総数	82
内留学生総数 (交換留学生数)	04 0
内日本人学生総数	645
人文社会学部	220
教育学部	51
理工学部	204
農学部	154



6. 国際月間

1.1 概要

岩手大学では、本学の学生・教職員及び一般市民に対し、国際理解力の増進と国際交流への関心度を向上させ、各事業の波及効果の上昇を図ることを目的に、毎年秋に「岩手大学国際月間-Iwate University International Month-」を開催している。

令和3年度は11月1日(月)～11月30日(火)を期間に定め、海外で活躍する卒業生や岩手大学を卒業後も岩手の企業に就職した留学生をゲストスピーカーに迎えたトークイベント、海外オンラインインターン報告会、岩手大学の国際交流や美しいキャンパスを伝える写真展等、様々なイベントを集中的に開催した。

1.2 実施行事一覧

(1)海外オンラインインターンシップ参加体験報告会

日 時:令和3年11月1日(月) 20:00～21:00

会 場:オンライン

(2)Lighthouse 主催 Japanese College Fair ONLINE アメリカ向け日本大学進学説明会

日 時:令和3年11月19日(金) 12:40～13:20 (英語),

12月3日(金) 12:40～13:20(日本語)

会 場:オンライン

(3)オンライン日本留学フェア カザフスタン・キルギス向け

日 時:令和3年11月18日(木) 14:30～15:30

会 場:オンライン

(4)Gandai のセンパイトーク！CHEN JIA HAUR(チェン ジャー ハウル)さん

日 時:令和元年11月4日(木) 18:45～19:45

会 場:グローバルビレッジ・オンライン

参加者:10名

(5)Gandai のセンパイトーク！江村菜津子さん

日 時:令和3年11月15日(月) 10:00～11:00

会 場:グローバルビレッジ・オンライン

参加者:30名

(6)TOEFL・IELTS オンライン説明会

日 時:令和3年 11 月 11 日(木) 17:00 ~ 18:30

会 場:グローバルビレッジ又は Zoom

参加者:16 名

(7)英語スピーチコンテスト

日 時:令和3年 11 月 26 日(金) 16:50 ~ 18:30

会 場:学生センターB 棟多目的室

出場者:13 名(内出場者 9 名)

(8)ECL 主催イベント「スウェーデンと日本の性教育 ~ジェンダー平等を目指して~」

日 時:令和3年 11 月 12 日(金) 20:00 ~ 21:30

会 場:オンライン

(9)VR 体験会 ~VR で世界をのぞこう~

日 時:令和3年 11 月 8 日(月)13:10 ~ 15:00

会 場:グローバルビレッジ

参加者:9 名

(10)海外派遣・国際交流プログラム参加体験展示

日 時:令和3年 11 月 2 日(火) ~ 11月 30 日(月)

会 場:学生センターB 棟フリースペース

(11)岩手大学国際交流写真展 ~岩手大学の国際交流と岩手の風景~

日 時:令和3年 11 月 2 日(火) ~ 11月 30 日(月)

会 場:学生センターB 棟フリースペース

(12)オンデマンド型海外留学体験報告会

日 時:令和3年 11 月 2 日(月) ~

方 法:岩手大学国際交流公式 YouTube チャンネル掲載

(13)北東北国立三大学イベント「トビタテ！留学 JAPAN 申請書の書き方レクチャー」

日 時:令和3年 11 月 1 日(月) ~

方 法:岩手大学国際交流公式 YouTube チャンネル掲載

(14)「海外協定校・海外在住の卒業生とつながろう」

セッション A 中国の協定校とつながろう！

日 時:令和 3 年 11 月 17 日(水) 14:55 ~ 15:30

会 場:E31 及びオンライン

参加者:38 名

(15)「海外協定校・海外在住の卒業生とつながろう」

セッション B 北米の協定校とつながろう！

日 時:令和 3 年 11 月 18 日(木) 16:30 ~ 17:30

会 場:オンライン

参加者:4 名

(16)「海外協定校・海外在住の卒業生とつながろう」

セッション C 海外在住の卒業生とつながろう！

日 時:令和 3 年 11 月 25 日(木) 13:00 ~ 14:00

会 場:E23, G19 及びオンライン

参加者:52 名

1.3 岩手大学国際交流 YouTube 国際月間再生リスト

<https://bit.ly/2ULkdQ2>



報告:国際課

IHATOVO グローバルコース・グローバルマイレージ報告

1. 概要

国際教育センターでは、岩手に顕在化するグローバルな課題を理解し、解決に貢献し、発信する力の養成をめざし、「IHATOVO グローバルコース」を企画・運営している。このコースの参加によって「知識・探求力」、「コミュニケーション力」、「人間力」を向上させ、地域社会、国際社会で活躍する人材を育成する。

2. コースのコンセプトと構成

コースは、A. 外国語、B. コミュニケーション、C. 国際教養、D. 実践の4つのカテゴリーに分類された、授業および課外活動で構成されている。各授業、活動に参加すると、Global Mileage が付与される。A～Dのすべてのカテゴリーのいずれかの授業、課外活動に1つ以上受講・参加し、一定程度の Global Mileage を獲得した者には IHATOVO グローバルコース履修認定証を授与する(ゴールド2000マイル以上、シルバー達成1200マイル以上、ブロンズ達成800マイル以上獲得)。

3. 実施状況

令和3年度は、活動の増加およびカテゴリー整理を行った。また、グローバルビレッジの活動に対しても積極的にマイル付与を行うなど、マイレージ取得対象授業活動を拡大した。新型コロナウイルス感染状況にあったが、マイレージ取得学生が全学部学生(4592名)の55.6%となった。また、各学部別のマイレージ取得状況は以下の通りである。

<認定証対象者> (平成28年度からの積算数)

	人文社会	教育	理工	農	計
Gold	20	2	3	3	28
Silver	4	4	5	4	17
Bronze	5	7	4	8	24
計	29	13	12	15	69

4. 表彰

グローバルマイレージ最上位のゴールドに認定された学生には、学長からの認定書授与と海外研修参加費や外国語検定試験に係る検定料等の補助として岩手大学イーハトーヴ基金から奨学金が支給される。今回は、6月9日に、7名の学生がゴールド認定証を授与された。小川学長から、「今回のゴールド認定証にいたるまでの学びで得た知識をさらに磨いて、みなさんにはレジリエント(強靭さ、しなやかさを持った)な人材となって欲しい」と激励があった。

(報告:松岡・小笠原)

フィールドスタディ

1. フィールドツアー「世界遺産 平泉」

岩手大学留学生を対象に東北地域の観光地・文化施設等への訪問を通して、留学生相互の交流促進と東北地域の風土・歴史・文化への理解を深めることを目的とし実施した。これまで各年度に一度のペースで青森県の十和田市、秋田県の角館、宮城県の松島へのフィールドツアーを実施しており、令和3年度は岩手県内の平泉を選定し、12月4日に執り行った。新型コロナウイルス感染症対策のため大型バス2台をチャーターし、消毒液を一人に一つ持参させる等、感染防止対策を徹底して実施した。参加した33名は毛越寺や中尊寺の見学、えさし郷土文化館での文化体験を楽しんでいた。参加者からは「久しぶりに友人と楽しい時間を過ごせた」「岩手にある世界遺産・平泉についてよく学ぶことができた」といった感想が聞かれた。

2. フィールドスタディ「スキー・スノーボード in 岩手」

フィールドスタディ「スキー・スノーボード in 岩手」を令和4年1月13日に八幡平リゾートパノラマスキー場で実施し23名が参加した。本事業は岩手大学に学ぶ外国人留学生が、母国でほとんど経験することがないスキーまたはスノーボードを通じて、雪国である岩手の冬に親しむことを目的に実施している。

報告：国際課

地域日本語教育支援事業報告

1. 事業の趣旨および概要

外国出身の住民が増加する地域社会の日本語課題解決の一助とすることを目的として、地域日本語教育支援事業を平成 17 年度から継続実施している。今年度は、情報交換(協議会、ネットワーク会議)、指導者研修会、多文化キッズキャンプ、オンライン個別学習支援が実施された。

2. 事業内容

2.1 子どもの学習支援事業

いわて多文化子どもの学習支援連絡協議会総会

日時:令和 3 年 10 月 8 日(金)10 時 30 分~12 時

場所:オンライン開催

参加者:岩手県教育委員会学校教育課 向井口千恵子

盛岡市教育委員会 山内浩 二戸市教育委員会 長畑宏範

岩手県国際交流協会 大山美和、佐々木葵

いわて多文化子どもの教室むつみっこクラブ 村井好子

ゆうの会 熱海アイ子

岩手大学教育学部 馬場智子

岩手大学国際教育センター 藪敏裕、松岡洋子

岩手大学国際課 清水千香子

< 協議内容 >

・事務局を務める岩手大学国際教育センターの名称変更のため、構成員の名称の変更を承認後、令和 2 年度事業報告および令和 3 年度計画を承認した。これに続き、各地域教育委員会および民間支援団体からの活動報告を経て情報交換を行った。最近、外国人就学児童生徒が増加傾向にあり(令和元年 94 名 令和 3 年 110 名)、進路を見据えた支援の必要性があること、文部科学省から多くの資料、教材情報が提供されているが、周知が進んでいないことから、積極的に活用してほしいことについて、県教育委員会から意見があった。事業推進のための予算については厳しい状況にあるが、今後必要性を発信し、事業化を目指すべきだという意見が多く見られた。

個別支援事業

むつみっこくらぶ、ゆうの会会員による、個別支援活動が昨年度、今年度も継続されている。また、新型コロナウイルス感染対策、および広域に散在する子どもの支援を目的として、岩手大学の学生による遠隔個別支援活動が宮古(中学生)、葛巻(小学生)、滝沢(小学校 3 名)、花巻(高校生)、北上(中学生)に対して実施した。本事業は本人、学校側共に効果を実感したとの評価を得たが、対応する学生と予算(謝金、教材費等)の確保が大きな課題となった。

岩手県帰国・外国人児童生徒等教育関係者研修会

外国につながる子どもの教育、学習支援に関する情報交換、知識習得等を目的として、年 1 回、岩手県教育委員会といわて多文化子どもの学習支援連絡協議会、岩手大学国際教育センターの共催で研修会を実施している。今年度は、11 月 9 日(10:00 - 16:15)に新型コロナウイルス感染予防の観点からオンライン形式で開催された。初めに岩手県教育委員会から協議の視点が示されたのち、青森県で文部科学省受託事業として行われている外国につながる子どもの支援体制構築事業について青森県教育委員会担当者から

説明があり、質疑応答が行われた。次に、グループ討議で各地域、学校で行える支援について話し合いの時間がもたれた。参加者は各地教育委員会、学校教員、支援者、大学院生等 40 名。次年度以降、岩手県教育委員会で研修方法を再検討し、継続性を持った研修会に改善する計画である。

多文化キッズキャンプ

岩手県国際交流協会の助成を受け、むつみっこクラブ、岩手大学の共催で、県内および青森在住の外国にルーツのある子どもの学習支援および大学生との交流を目的とした合宿事業を実施した。新型コロナウイルス感染拡大の時期ではあったが、感染状況が落ち着いていた 2022 年 1 月上旬に岩手山青少年黒龍の家を会場に、1泊2日で開催した。参加者は学生 17 名(うち留学生 7 名) 子ども 15 名、保護者・支援者・引率等 8 名の計 40 名だった。初日は、アイスブレイクを兼ね、参加者紹介、雪遊びから始まり、大学生の支援による個別学習活動、多言語交流ゲーム等による交流活動を行った。2 日目は、個別学習活動と全体での日本の遊び体験活動を行った。各活動では、講師の指導、支援を得た。これらの活動により、子どもたちの学習内容の理解、学習への意欲を高めた、日ごろ孤立しがちで、かつ支援を受けづらい子どもたちを精神的に開放できた、学生たちの多文化社会に対する理解と支援の必要性に対する意識が高まった、という成果が認められた。本事業は、参加者の移動費の確保に課題を抱えており、今回、岩手県国際交流協会の助成によって実施が実現されたことに感謝を表したい。

2.2 地域日本語教育事業

日本語学習支援ネットワーク会議 in 青森

地域日本語学習・日本語教育に関わる情報交換を目的として、年 1 回東北各県の大学、国際交流協会を中心とした実行委員会形式により持ち回りで開催している本事業は、昨年度新型コロナウイルス感染拡大により延期となったが、今年度は青森県の実行委員会によるオンラインでの開催となった。

日時:2021 年 11 月 6 日 10 時 15 時

内容:基調パネルディスカッション「地域の「日本語教育」人材像とその育成」

分科会 1「外国につながる子どもの教育支援」

分科会 2「外国人と医療」

参加者数:約 100 名

本センターは、後援団体として関わるとともに、基調パネルの一員としてセンター教員(松岡)が参加した。次年度は、岩手を会場に実施予定である。

なか東北地域日本語教育専門人材養成

岩手、山形、秋田の3県の大学、地域国際化協会および日本語教師集団が連携し、2022 年 2 月 28 日に連携協定を締結しオンラインでの調印式を実施した。次年度以降3年間、養成講座を3県合同で実施し、専門性の高い教師を養成し、地域日本語教育の質保障に資する人材を地域に送り出す事業を展開する。

協定締結団体:岩手大学国際教育センター、国際教養大学専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科、山形大学学士課程基盤教育機構、公益財団法人岩手県国際交流協会、公益財団法人秋田県国際交流協会、山形市国際交流協会、特定非営利活動法人ヤマガタヤポニカ

報告:松岡洋子

地域学習活動支援報告

1. 住田高校対象英語学習オンライン研修支援について

1.1 実施の経緯

10月に住田町教育委員会教育コーディネータより1月に英検を受験する生徒への教育支援として、岩手大学の学生にオンラインで英語指導とともに、進学意欲に繋がるような交流をしたいという連絡があった。そこで、12月から岩手大学生をバイトで雇用し、オンライン学習支援を実施することとした。

1.2 参加者と形態

岩手大学で学生募集を行った。岩手大学側でZOOMを接続し、2つのブレイクアウトルームに高校生と大学生が参加し、1回30分の指導時間として、教員は指導についてのバックアップを行った。教育コーディネータも住田町の事務所で高校生の接続や課題提出についての支援を行った。1回は津田塾大学の学生グループと一緒に進路相談会にも参加した。

実施日時:12月2日、3日、9日、16日、17日、20日

実施時間帯:15時50分～17時15分(30分×2セッション) 途中入れ替え時間有

高校生参加者:1年生2名、2年生2名

岩手大学生参加者:のべ11名(実数6名)

1.3 参加高校生からの感想

後日コーディネータから振り返り感想が寄せられた。

・高校生からの声:「楽しかった」「やって良かった」「またやりたい」「学習の仕方がわかった」「問題の解き方がわかった」

・コーディネータより:年代が近いので質問がしやすい、話がしやすい。学習に対してのモチベーションもアップしていた。実施の様子を見て刺激を受け、横で英検の勉強をしていた生徒もいた。

2. 多文化共生出前授業について

2.1 受け入れの経緯

岩手県が国際ニアコライダー事業を推進するなかで、受け入れ地域での多文化共生推進をめざすことから、盛岡広域振興局経営企画部企画推進課担当者より多文化共生普及員引き受けの打診を受けた。内容としては多文化共生の普及に資する出前授業の実施であり、担当者が全体の取りまとめをするということで、引き受けることになった。

2.2 実施内容

日時:令和3年12月10日(金)13時25分～16時15分

場所:盛岡中央高校附属中学校

対象者:108名(1~3年生)

2.3 研修概要

50分の授業時間を使って、小グループのディスカッション形式で実施した。

(事前課題)日本人であることの条件について

言語、宗教、教育、環境、国籍などのキーワードから何が人のアイデンティティを決めるかを考えて意見交換

「〇〇人」の条件について考える

多様な「日本人」や「外国人」の情報を見ながら意見交換

あらためて多様性の重要性や意味を振り返る

3.3 参加者アンケートから

回答した生徒の78%が「とても面白い」「面白い」と関心を示したようである。

「今まで僕は日本国籍を持っていれば日本人だと思っていたけど、多文化共生の授業を聞いてから、確かに日本人ではなくても、日本国籍は持てるので、日本国籍を持っている人が全員日本人(注:みたくに見える)だとは限らないと思った。また、日本人の定義がはっきりしていないことが分かった。みんなで日本人とはどういうものなのかいろんな人と考えを共有できたので良い機会になったと思った。」「『〇〇』だから日本人であるというのは、一概には決められないものだということを今回の授業で改めて気づかされた。私の身の回りの人の多くが「日本人」である中で、外国の方は何か私たちと違うものであると知らずのうちに遠ざけ、世界を狭くしていた自分がいた気がする。今回の授業で、日本人であるということばかりが大切なのではないと思うようになった。とても楽しい授業だった。」

3. 令和3年度いわて生涯学習士育成講座について

3.1. 実施内容について

日時:10月13日(水)10:30~12:00

タイトル:国際理解教育と生涯学習

会場:盛岡市産学官連携研究センター(コラボ MIU)会議室

参加人数:18名

主催:地域社会教育推進室

3.2 研修内容

アイスブレイキングの後、小グループにわかれて「バーンガ」という異文化体験シミュレーションゲームを実施し、最後に振り返りを行った。

報告:尾中夏美

岩手県留学生交流推進協議会事業報告

1. 岩手県留学生交流推進協議会総会

岩手県留学生交流推進協議会総会は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ紙上会議(令和4年1月26日～令和4年2月4日)で開催し、28の構成団体から回答を得た。

総会では、令和3年度事業計画として、広報誌「留学生いわて」34の発行、みんなの動画で岩手をつなげよう「ハッピーニューイヤー動画コンテスト」の開催について、それぞれ審議のうえ実施することとした。

また、令和2年度事業として、総会の開催、広報誌「留学生いわて」33の発行、「with コロナ時代の留学生たちは？」作文コンクールの実施、外国人留学生フィールドスタディ in Iwate(企業訪問)の実施について報告があり、さらに令和3年度地域交流等実施計画調査、岩手県内高等教育機関(大学・高専)留学生データについて報告があった。

2. みんなの動画で岩手をつなげよう！ハッピーニューイヤー動画コンテスト実施報告

令和3年度事業として「みんなの動画で岩手をつなげよう！ハッピーニューイヤー動画コンテスト」を実施した。

平成25年度から実施してきた「岩手のいいところ写真展」は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行に伴い、令和2年度は特別企画として「with コロナ時代の留学生たちは？」をタイトルに作文コンクールを開催し、今年度は「みんなの動画で岩手をつなげよう！ハッピーニューイヤー動画コンテスト」を開催した。情報化社会において、岩手の良さや留学生活の今を写真から作文へ、さらに動画へとスイッチし、SNSを活用した広範囲でのPR活動にも結びつけることができた。

動画コンテストは、岩手県内の高等教育機関に在学している留学生を対象に、自由なテーマで、岩手の風景や伝統文化を紹介する動画、趣味や部活を紹介する動画、新年にチャレンジしたいことの動画を募集したところ、グループによる応募が2件、個人による応募が5件あった。所属機関別では、岩手大学から3件、岩手県立大学から1件、盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校から2件、上野法律ビジネス専門学校から1件となる。岩手の美しい風景や岩手で生活する留学生としての一日、岩手ならではの余暇の楽しみ方等、岩手の魅力が凝縮された作品が集まった。応募作品を協議会ホームページから見ることができる。

令和3年3月8日(火)に行われた表彰式では、受賞者に表彰状と各協賛団体等から提供された賞品が贈呈された(詳細は本紙の3ページをご参照)。岩手県留学生交流推進協議会長の小川智岩手大学長からは「応募作品はそれぞれに個性と良さがあって、優劣を付けがたかった」、「留学期間中は岩手の良さはもちろんのこと、日本の良さをたくさん知ってほしい」、「卒業したら日本と母国を繋げる架け橋になってほしい」と、講評をいただいた。

また、協議会構成機関より、たくさんのご協賛をいただき、留学生には図書カード、南部せんべい、クッキー、瓶ドン、岩手県産リンゴジュース、市町村のグッズ、マスクなどが副賞として一人一人に手渡された。なお、表彰式の様子はオンラインでの視聴もできるようにし、感染対策として会場までに来られなくても視聴できるように対応した。

受賞作品一覧

フリガナ	国籍	所属機関	動画タイトル
岩手県留学生交流推進協議会長賞			
ルゾン キンパリー ジョイ エスムンド	フィリピン	盛岡情報ビジネス &デザイン専門学校	盛岡 ホットスポット
グルン プラビン	ネパール		
ティマルシナ ジヴァン プラサド			
ラマ アシス			
岩手県国際交流協会賞			
ロニー エモデ	バングラデ シュ	上野法律ビジネス 専門学校	We love Iwate
盛岡市賞			
チャルシリ パス	タイ	岩手大学	This is Iwate
盛岡大学賞			
シー リャン	中国	岩手県立大学	岩手の大地に舞う
いわてユネスコ賞			
タン ドック チャン	ベトナム	盛岡情報ビジネス&デ ザイン専門学校	留学生の一日
マガル ビノド			
ホアン ミン タム			
ブイ クアン ミン ニュット			
サーモンランド賞			
タタウロワ ナデージダ	ロシア	岩手大学	盛岡の秋:中央公民 館庭園の紅葉
First Action 賞			
カク メイナン	中国	岩手大学	雪の国 スキーしよう

(報告:国際課)

日本留学フェア及び外国人学生のための進学説明会等

本学では、第三期の国際連携戦略アクションプランにおいて、「グローバル化に関する取組の情報発信・周知・啓蒙活動の推進」、「交換留学生、大学院生を中心とした受入留学生の促進」、「多様な国・地域への留学、国内外での国際研修プログラムを多様化し、学生の海外派遣を促進」などを挙げており、それに関連した国際広報活動を行っている。

主に、海外で行われている日本留学フェア及び国内の外国人学生のための進学説明会、協定校訪問、卒業留学生との懇談会開催等を通じて、本学の認知度を向上、優秀な留学生の獲得、卒業留学生とのネットワーク構築のための広報活動を行ってきた。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、大学の資料配布とオンラインでの参加となった。

1. 日本留学試験(第2回)の国外試験会場への資料配布

令和3年6月と11月に実施した「令和3年度日本留学試験」国外実施会場に設置した渡日前入学許可大学資料コーナーに、本学の留学案内(日本語、英語、タイ語、中国語、韓国語)を配布し、日本留学を目指している海外の方々へ岩手大学をPRする良い機会となった。

資料配布を行った国・地域(都市)は以下のとおり。

インド(ニューデリー)、インドネシア(ジャカルタ・スラバヤ)、韓国(ソウル・プサン)、タイ(バンコク)、台湾(台北)、ベトナム(ハノイ・ホーチミン)、香港、マレーシア(クアラルンプール)、モンゴル(ウランバートル)

2. 北東北国立三大学国際交流担当者による進学説明会

北東北国立三大学連携推進会議連携協議会課題別(国際化推進)専門委員会において、コロナ禍での今後の同説明会の在り方について議論され、対面で実施する場合には従来通り岩手大学が担当し、オンラインで実施する場合には、秋田大学、弘前大学が持ち回りで担当することとなり、今年度は秋田大学が当番校として以下のとおり開催した。

(以下、秋田大学の報告から抜粋)

対象者:主に東北地区及び関東地区(東京都を除く)の日本語学校の生徒及び教職員

日時:令和3年12月8日(水)13:30~15:30

開催方法:Zoomでのオンライン開催

概要:各大学の紹介(各々30分程度)及び質疑応答(30分程度) 使用言語は日本語

当日参加者:各日本語学校の生徒及び教職員11校44名、三大学関係者22名

実施成果：

各大学の特色、入試関係、留学生寮及び就学関係(授業料免除等を含む)について説明した後、質疑応答にて対応した。

質疑応答では、「日本語留学試験利用の場合の合格基準点や重視する点」及び「奨学金について」について質問があり、各大学からの各々の回答に加え、説明者として参加していた先輩留学生からのアドバイス等もあり、参加者は理解を深めることができた様子であった。

なお、今年度のオンラインでの実施に伴い、東北地区及び関東地区の日本語学校にまで拡大して周知したことにより、結果的に 11 校 44 名の参加となった。

参加者からは、「東北3大学の説明が一度に聞けてよかった」「東京から遠い北東北の大学なので、寮やアルバイトの話がとても参考となった」「留学生から入試のためにどんな勉強をしたか、具体的なアドバイスも聞けてとてもよかった」という意見があり、オンライン実施としたことで、多くの日本語学校に北東北国立三大学を知ってもらえる良い機会となったことから、今後もこのような形式での開催の必要性を実感した。

3. 日本留学オンラインフェア(JASSO 主催)

例年は東京と大阪で実施されていた「外国人学生のための進学説明会」が新型コロナウイルス感染症の影響により、Zoom を利用したオンラインでの開催となった。

実施日程：2021 年 8 月 29 日(日) 15:40～16:40(最大 17:30 まで)

フェアは使用言語別に英語フェア及び日本語フェアを各 3 日実施され、岩手大学は英語によるフェアのみに参加

配信対象国及び対象者：日本を含む全世界

対象者：海外在住の高校生・大学生等日本留学希望者、高校等の進路指導担当教員、大学等の国際交流担当者等、日本の高等教育機関への進学を希望する、国内の日本語教育機関等に在籍する外国人学生及び日本語教育機関の教職員等

当日参加者：109 名

実施内容：フェア特設サイトにおける情報提供。フェア特設サイトに岩手大学の機関情報、留学生のインタビュー動画等を掲載。ライブセッション。本学の基本情報、入試情報、特色などを国際教育センター教員(尾中教授、ピーターセン准教授)が英語でプレゼンテーションを行い、国際課職員と一緒にチャットでの質問と、参加者との質疑応答を行った。また、当日の Zoom ミーティングを録画し配信した内容は本学の国際交流 YouTube チャンネルと JASSO の日本留学情報サイトへ(1か月程度)掲載し、当日参加できなかった学生も視聴できるように対応した。

4. その他オンラインフェア

4.1 カザフスタン・キルギス共和国合同留学フェア(オンライン)

主催:カザフスタン日本人材開発センター(KJC)/キルギス日本人材開発センター(KRJC)、筑波大学(文部科学省「日本留学海外拠点連携推進事業(ロシア・CIS拠点)」)

共通セッション:日本留学プログラム・参加校の主催者による紹介

参加校毎の個別セッション:1時間(プレゼンテーション、Q&A、個別相談会)

開催日:共通セッション:2021年11月13日(土)

うち、岩手大学個別セッション:11月18日(木) 12:30~13:30

参加者:38名

4.2 ライトハウス主催「日本の大学説明会(アメリカ)」

開催方法:オンライン会議ツール(Zoom)を使ったライブ配信

開催日:2021年11月8日(月)~12月9日(木)

岩手大学参加日程:

11月19日(金)英語によるプレゼン&質疑応答(参加者 約137名)

12月3日(金)日本語によるプレゼン&質疑応答(参加者 約145名)

参加者:全体の参加者は約1500名/出身内訳はアメリカ37%、日本30%

4.3 ミャンマー、カンボジア、ラオス&ASEAN 留学フェア

主催:岡山大学

配信対象エリア、フェア参加対象者:ASEAN10か国の高校生、大学生、社会人等日本留学希望者と、現地教育機関等関係者など

開催日程:2022年1月17日(月)~2月18日(金)

うち、岩手大学個別セッション:2022年2月15日(火) 14:00~15:00

実施内容:特設ウェブサイトにおける参加機関紹介、日本留学基本情報・就職に関する情報等掲載、参加機関によるオンライングループ相談会

参加者:37名

(報告:国際課)

岩手大学外国人留学生同窓会事業報告

卒業・修了生に大学が進める改革や取り組みを伝え、大学の教育・研究・社会貢献に対する率直な意見を聞く機会として、外国人留学生 OB・OG 等との懇談会を 2015 年度から 2019 年度までに国内外で計 10 回開催してきた。更に、この懇談会を契機として、各地域の同窓生が継続して交流を推進・強化し、2019 年 11 月には岩手大学創立 70 周年記念事業国際シンポジウム分科会として岩手大学外国人留学生同窓会設立大会を開催し、同窓会及び支部計 6 カ所が構築された。

なお、2022 年度現在、同窓会支部は計 8 カ所(タイ、モンゴル、西安、東京、長春、長江デルタ、マレーシア、岩手)が登録されている。

今年度の事業として主に二つの事業を実施した。

1. カレンダー作成

新型コロナウイルス感染症の影響により、マレーシア及び中国の同窓会支部へ訪問計画は中止となり、12 月下旬に各同窓会支部や海外在住卒業・修了留学生へ本学の風景写真付カレンダーを作成し、イーハトーヴ基金の寄附のお願い通知文書を送付した。

カレンダーを受け取った卒業生から、「卒業してから 19 年が経ちました。岩手での留学生活が恋しいです」、「新型コロナウイルス感染症が終息した際には中国西安でお会いしましょう!」、「岩手の懐かしい風景をみて、留学生だった頃の思い出がよみがえりました。ありがとうございます!」、「盛岡のすべてが懐かしくなります。夏のさんさ踊りが懐かしいです。」などのメッセージが寄せられた。

カレンダーは、同窓会支部及び個人申込によって、中国・台湾・マレーシア・タイ・インドネシア・日本国内へ郵送され、卒業生の手元に届けられた。

2. センパイトーク

岩手大学の卒業生(留学生・留学等国际経験豊かな日本人)を講師とし、現在のキャリアや在学中に取り組んだ内容について紹介いただき、在学生在が今後の将来を考えるうえでのヒントやアドバイスをいただく時間とするため、「Gandai のセンパイトーク!」を企画・実施した。第 1 回目を令和 3 年 7 月 7 日に実施し、岩手の企業で働く卒業生に岩手で住み働く魅力について語っていただいた。当日の動画は後日岩手大学国際交流 YouTube にも掲載し学内

ポータルにてオンデマンド配信した。同イベントについては国際月間内にも2回ほど実施しており、詳細については本報告「7.海外留学支援事業」を参考いただきたい。

【参考】 外国人留学生同窓会支部一覧(令和4年3月現在)

	支部名	代表者 事務局	申請日
1	岩手大学外国人留学生同窓会東京支部 Alumni association for Iwate University International Students Tokyo branch	李 書墨	2018.6.15
2	岩手大学外国人留学生同窓会西安支部 Alumni association for Iwate University International Students Xi'an branch	張 志毅	2018.6.20
3	岩手大学外国人留学生同窓会モンゴル支部 Alumni association for Iwate University International Students Mongolia branch	グンジー ゴリーグ ヌグジガル プレブツォグ ト	2018.6.20
4	岩手大学外国人留学生同窓会タイ支部 Iwate University Alumni Association of Thailand (IWAAT:イワート)	ラタナチャイ パイリントラ ナロンサック ピシャヤピス ット	2018.7.4
5	岩手大学外国人留学生同窓会長春支部 Alumni association for Iwate University International Students Changchun branch	趙蘭波 楊連玉	2018.8.20
6	岩手大学外国人留学生同窓会長江デルタ支部(上海、浙江省、江蘇省地域) Alumni association for Iwate University International Students Yangtze River Delta branch	楊建華 叢 培紅(副支部長) 毛 偉	2019.6.21

7	岩手大学マレーシア同窓会 Malaysian Alumni of Iwate University (MAIU) Malaysian Alumni of Iwate University (MAIU)	Hanafiah Yussof Isrami Ismail	2019.10.10
8	岩手大学外国人留学生同窓会岩手支部 Alumni association for Iwate University International Students Iwate branch	李 金花 白 韻	2021.3.23

(報告:国際課)

2021年度 学長と外国人留学生との懇談会

1.目的 岩手大学で学ぶ外国人留学生と懇談することにより、今後の留学生受入れ体制の整備や課題の解決の一助とするため、実施した。定期的に留学生の意見を聞く機会として、2021年度から隔年で実施する予定である。

2.テーマ 学長と語ろう！～コロナ禍における学びと学生生活への影響～

3.日時 2022年3月22日(火)10:30～11:30

4.場所 学生センターB棟1階 多目的室及びオンライン開催

5.参加者

大学教職員 小川学長他計13名

留学生 対面参加者5名、オンライン参加者4名 計9名(内未入国者1名)

7.懇談内容

- ・コロナ禍における教育研究環境について
- ・コロナ禍における大学の授業で良かったと感じた授業方法や内容、その他大学や学生同士の取り組みで有意義だったと思うこと。
- ・コロナ禍で影響を受けたこと。頑張っていること、取り組んだこと
- ・その他大学に要望したいこと(経済支援、学習支援、生活支援など)

報告:国際課

外国の大学との交流

Academic Cooperation between Universities/Faculties

令和3年5月1日現在

大学間協定 Universities

国名 Country	大学等名 Name of University	初締結 年月日 First Date of Agreement	主な交流内容 Contents of Exchanges	
			学術 交流 Academic Exchange	学生 交流 Student Exchange
中華人民共和国 People's Republic of China	曲阜師範大学 Qufu Normal University	2002.9.25		
	北京大学・石河子大学 Peking University Shihezi University	2003.12.5		
	西北大学 Northwest University	2003.12.9		
	大連理工大学 Dalian University of Technology	2005.5.23		
	吉林農業大学 Jilin Agricultural University	2006.10.3		
	寧波大学 Ningbo University	2006.10.28		
	山東工芸美術学院 Shandong University of Art and Design	2016.7.21		
	上海海洋大学 Shanghai Ocean University	2017.5.16		
	福建農林大学 Fujian Agriculture and Forestry University (FAFU)	2019.7.8		
大韓民国 Republic of Korea	明知大学校 Myongji University	2004.7.13		
	国立 HANBAT 大学校 Hanbat National University	2006.8.23		
	全南大学校 Chonnam National University	2009.9.1		
	群山大学校 Kunsan National University	2016.1.27		
台湾 Taiwan	国立高雄師範大学 National Kaohsiung Normal University	2011.7.8		
タイ王国 Kingdom of Thailand	サイアム大学 Siam University	2002.7.2		

	キングモンクット工科大学トンブリ校 King Mongkut's University of Technology, Thonburi	2016.6.20		
	ラジャマンガラ工科大学ラーナ校 Rajamangala University of Technology Lanna	2017.7.26	○	
	パンヤピワット経営大学 Panyapiwat Institute of Management	2017.12.18	○	○
	キングモンクット工科大学ラカバン校 King Mongkut's University of Technology, Ladkrabang	2018.8.1	○	○
	チェンマイ大学 Chiang Mai University	2019.5.8	○	
	ラジャマンガラ工科大学タンジャブリ校 Rajamangala University of Technology Thanyaburi	2019.5.19	○	
ミャンマー連邦 共和国 Republic of the Union of Myanmar	パテイン大学 Pathein University	2016.12.4		
アメリカ合衆国 United States of America	オーバン大学 Auburn University	1998.11.6		
	アーラム大学 Earlham College	2003.8.11		
	テキサス大学オースティン校 The University of Texas at Austin	2004.10.20		
	アラスカ大学アンカレッジ校 University of Alaska Anchorage	2016.2.5		
カナダ Canada	セント・メアリーズ大学 Saint Mary's University	2003.7.31		
	サスカチュワン大学 University of Saskatchewan	2013.3.1		
アイスランド共和 国 Republic of Iceland	アイスランド大学 The University of Iceland	2011.2.16		

ロシア連邦 Russian Federation	サンクト・ペテルブルグ国立文化大学 St. Petersburg State University of Culture	2000.3.28		
モンゴル国 Mongolia	モンゴル国立大学 National University of Mongolia	2017.10.1		
	モンゴル科学技術大学 Mongolian University of Science and Technology	2018.9.4		
イギリス(スコット ランド) United Kingdom (Scotland)	スターリング大学 University of Stirling	2020.11.2		

大学院生の受入(交換留学外)

部局間協定 Faculties

部局名 Faculty in Charge	国名 Country	大学等名 Name of University	初締結 年月日 First Date of Agreement	主な交流 内容 Contents of Exchanges	
				学術 交流 Academic Exchange	学生 交流 Student Exchange
人文社会科学部 Humanities and Social Sciences	フランス共和国 French Republic	ボルドー・モンテーニュ大学 Université Bordeaux Montaigne	2007.7.6		
教育学部 Education	中華人民共和国 People's Republic of China	北京大学芸術学系・哲学系・宗教学系 Peking University Department of Philosophy (Religion)	1998.8.21		
	イタリア共和国 Republic of Italy	カララ大学 Accademia di Belle Arti di Carrara	2005.10.5		
	アメリカ合衆国 United States of America	ノース・セントラル・カレッジ North Central College	2002.9.6		
	カナダ Canada	ブリティッシュ・コロンビア大学教育学部 The University of British Columbia Faculty of Education	2001.7.17		
人文社会科学部・教育学部 Humanities and Social Sciences, Education	中華人民共和国 People's Republic of China	清華大学人文学院 School of Humanities, Tsinghua University	2017.3.21		
理工学部 Science and Engineering	中華人民共和国	華南理工大学 South China University of Technology	2004.7.6		○

People's Republic of China	西北農林科技大学信息工程学院 Northwest A&F University College of Information Engineering	2006.8.23		
	清華大学深圳研究生院 Graduate School at Shenshen, Tsinghua University	2016.7.5		
	暨南大学先進耐摩蝕・機能材料研究院 Institute of Advanced Wear & Corrosion Resistant and Functional Materials, Jinan University	2021.4.1		
台湾 Taiwan	台湾国立嘉義大学生命科学院 National Chiayi University, College of Life Science, Taiwan	2020.5.1		
タイ王国 Kingdom of Thailand	タマサート大学工学部 Faculty of Engineering, Thammasat University	2014.12.11		
	カセサート大学理学部 Faculty of Science, Kasersert University	2016.7.1		
	パヤオ大学経営情報科学部、健康科学部 School of Management and Information Sciences, School of Architecture and Fine Arts, University of Phayao	2019.7.8		
マレーシア Malaysia	マレーシアパハン大学研究イノベーション部門 Department of Research and Innovation, University Malaysia Pahang	2010.6.9		
大韓民国 Republic of Korea	忠南大学校グリーンエネルギー技術専門大学院 Chungnam National University Graduate School of Green Energy Technology	2013.4.8		

		韓国世宗大学校工学部 College of Engineering, Sejong University	2019.1.8	○	
	モンゴル国 Mongolia	人文大学情報通信マネジメント学院 University of the Humanities	2016.4.1		
	キルギス共和国 Kyrgyz Republic	キルギス-トルコマナス大学工学部 Engineering Faculty, Kyrgyzstan-Turkey Manas University	2009.10.22		
		キルギス-ロシアスラブ大学工学部 Engineering Faculty, Kyrgyz-Russian Slavic University	2010.12.1		
	スウェーデン王国 Kingdom of Sweden	リンネ大学工学部・健康科学部 Faculty of Technology, Faculty of Health and Life Sciences, Linnaeus University	2016.10.1		
	ベトナム社会主義共和国 Socialist Republic of Viet Nam	ベトナム国建設省建築材料研究院 Vietnam Institute for Building Materials of Ministry of Construction	2017.12.4	○	
農学部 Agriculture	ドイツ連邦共和国 Federal Republic of German	ロッテンブルク大学 University of Applied Forest Sciences Rottenburg	2013.11. 6		
連合農学研究科 Agricultural Sciences	バングラデシュ人民共和国 People's Republic of Bangladesh	ダッカ大学生物学部 Faculty of Biological Sciences, University of Dhaka	2014.11.26		
国際教育センター International Education Center	台湾 Taiwan	台湾文藻外語大学日本語文系 Department of Japanese, Wenzao Ursuline University of Languages	2018.2.26	○	

	インドネシア 共和国 Republic of Indonesia	アイルランガ大学人文学部 Airlangga University Faculty of Humanities	2018.3.20		
環境マネジメ ント推進室 Office of Environment al Management	インドネシア 共和国 Republic of Indonesia	ガネーシャ教育大学 Ganesha University of Education	2020.10.1		

国際交流支援コーディネータについて

国際交流支援コーディネータは、国際化推進のための理念に基づく目標を達成するため、本学における特定の国際化推進事業を支援する専門的知識等を有する外部の者を、岩手大学国際交流支援コーディネータとして委嘱している。

国際交流支援コーディネータ 委嘱者

No.	氏名	国籍	現職	委嘱日
1	ラタナチャイ パイリントラ	タイ	King Mongkut's University of Technology Thonburi 助教授	2006年 9月1日
2	管 信利	日本	NPO 法人 ASIA Environmental Alliance 副代表	2014年 10月1日
3	楊 建華	中国	寧波大学日本語系副主任 副教授	2014年 10月1日
4	杉山 功	日本	彫刻家	2014年 10月1日
5	唐 硯漁	台湾	国立高雄師範大学 文化創意設計産学中心主任教授 工業設計系教授	2014年 10月1日
6	村上 清	日本	陸前高田市政アドバイザー	2014年 10月1日
7	門馬 孝之	日本	無職	2016年 4月1日
8	陳 愛陽	中国	清華大学日本語学科 准教授	2016年 4月1日
9	ポントーン トゥーパテーミー	タイ	タマサート大学工学部 助教授	2017年 10月1日
10	ナロンサック ピチャヤピスット	タイ	カセサート大学人文学部 専任講師	2017年 10月1日
11	イスラミ イスマイル	マレーシア	I-FIRM SDN BHD 社 代表	2017年 10月1日

No.	氏名	国籍	現職	委嘱日
12	アントニウス ラーマト プジョ プルノモ	インドネシア	アイルランガ大学 准教授	2018年 10月1日
13	林 珈汶	台湾	ブランドマネージャー	2018年 10月1日
14	ヌグジガル プレブツォグット	モンゴル	モンゴル国立大学 プログラム・信頼性保証室長	2019年 10月1日
15	田中 琢治	カナダ	サスカチュワン大学 准教授	2019年 10月1日
16	藁谷 収	日本	岩手県立美術館 館長	2020年 10月1日
17	萩原 薫	日本	高エネルギー加速器研究機構 名誉教授	2021年 10月1日

報告:国際課

Iwate University Global Fellow について

「Iwate University Global Fellow」称号は、海外の教育研究機関等で活躍する本学の卒業生及び元教職員との関係強化並びに本学の国際的プレゼンスの向上を目的として授与している。

Iwate University Global Fellow 授与者

No.	氏名	国籍	所属等	授与日
1	Chilakamarri (Chary) Rangacharyulu	カナダ	University of Saskatchewan サスカチュワン大学 教授	2017 年 2 月 27 日
2	Karen Kikumi Tanino	カナダ	University of Saskatchewan サスカチュワン大学 教授	2017 年 4 月 18 日
3	Arnold Martin Howitt	アメリカ合 衆国	Harvard University ハーバード大学 アッシュセンター 上級顧問	2017 年 6 月 16 日
4	Minjie Wang (王 敏杰)	中国	Dalian University of Technology 大連理工大学 模具研究所 教授	2017 年 6 月 21 日
5	Zhongchen Wang (王 中忱)	中国	Tsinghua University 清華大学 教授	2018 年 8 月 8 日
6	Lanpo Zhao (趙 蘭坡)	中国	Jilin Agricultural University 吉林農業大学 教授	2018 年 9 月 8 日
7	Choi Myeongrak (崔 明洛)	韓国	Chonnam National University 全南大学 教授	2019 年 11 月 14 日
8	Peihong Cong (叢培紅)	中国	Fudan University 復旦大学 教授	2019 年 3 月 9 日

(報告:国際課)

令和3年度交換留学生受入・派遣実績

学部等	受入 学生数	内訳	派遣 学生数	内訳
人文社会 科学部	-	-	2	米:テキサス大学オース ティン校1 韓:群山大学校1
教育学部	-	-	-	-
理工学部	-	-	-	-
農学部	-	-	-	-
総合科学 研究科 総合文化 学専攻	-	-	-	-
総合科学 研究科 農学専攻	-	-	-	-
総合科学 研究科 理工学専 攻	-	-	-	-
国際教育 センター	-	-	-	-
合計	4 -	-	2	-

令和3年度4月期は受入・派遣とも新型コロナウイルス感染症の影響により交換留学プログラム中止。10月期は受入のみ中止とし、派遣については特別な事情のある者のみ学内の審議を経たうえで派遣を認めることとした。

報告:国際課

訪問海外研修生受入実績

訪問海外研修生：

岩手大学において短期間(3日以上90日以下)の教育、研究指導又は研修を受けることを希望する外国の大学等の学生を「訪問海外研修生」(英語名称“Short-Term Visiting Trainee”)として受け入れることで、当該者の本学における諸活動に便宜を図り、もって本学の国際的な人材育成の推進に資することを目的とした事業。

令和3年度実績:新型コロナウイルス感染症の影響により受入不可

報告:国際課

岩手大学海外派遣・留学プログラム一覧(短期研修・研究型)

プログラム名	派遣地域・大学	派遣時期	派遣期間	単位認定	参加資格	定員	派遣実績					
							H 29	H 30	R 1	R 2	R 3	
明知大サマーキャンプ (韓国語研修)	[韓国] 明知大学校	8月 月上旬	3週間	あり	全学	4	0	/	/	/	/	/
春期海外英語研修	[フィリピン] デ・ラ・サール大学	3月	3週間	あり	全学	10	10	9	12	/	/	/
グローバルプロ 基礎コース (US-JAPAN FORUM)	[アメリカ] カリフォルニア地域の 大学・企業	2月	1週間	なし	全学	数名	0	0	1	/	/	/
グローバルプロ 養成プログラム (US-JAPAN FORUM)	[アメリカ] カリフォルニア地域の 大学・企業	9月	4週間	あり	全学	数名	1	0	1	/	/	/
カリフォルニア・ イノベーション研修 (US-JAPAN FORUM)	[アメリカ] カリフォルニア地域の 大学・企業	9月	9日～ 2週間	あり	全学	数名	1	1	0	/	/	/
シリコンバレー・ アントレプレナー研修 (US-JAPAN FORUM)	[アメリカ] カリフォルニア・ シリコンバレー	毎月	1ヶ月・ 3ヶ月・ 6ヶ月	なし	全学	数名	0	0	0	/	/	/
国際研修 - エネルギーと 持続可能な社会	[アイスランド] アイスランド大学 ほか [スウェーデン] リンネ大学 ほか	9月	9日 (+事前・ 事後研修 複数回)	あり	全学	12	8	8	/	/	/	/
国際研修 - 貧困と持続可能な 社会	[フィリピン] サンカルロス大学・ NGO	9月	2週間 (+事前・ 事後研修 複数回)	あり	全学	10	4	5	8	/	/	/
国際研修 - デザインと持続可能な 社会	[イタリア] カララ・アカデミー	2～ 3月	3週間 (+事前・ 事後研修 複数回)	あり	全学	10	/	10	/	/	/	/
国際研修 - ビジネスと持続可能な 社会	[台湾] 高雄師範大学	3月	13日間 (+事前・ 事後研修 複数回)	あり	全学	10	5	8	/	/	/	/
国際研修 - 世界遺産と持続可能 な社会	[インドネシア] アイルランガ大学	8～ 9月	2週間 (+事前・ 事後研修 複数回)	あり	全学	10	/	6	4	/	/	/
異文化理解研修	[タイ] サイアム大学	2月	2週間	なし	全学	2	/	0	0	/	/	/

プログラム名	派遣地域・大学	派遣時期	派遣期間	単位認定	参加資格	定員	派遣実績				
							H 29	H 30	R 1	R 2	R 3
日韓学生の協働研修 (海外研修)	[韓国] 群山大学校・ 明知大学校	8月	9日 (+国内 研修9日)	あり	人社	15	7	11	8	/	/
課題解決型国際研修 (ドイツ語)	[ドイツ] ドレスデン工科大学/ ゲーティンステイトウ ート	3月	2週間	あり	人社	20	/	14	7	/	/
課題解決型国際研修 (中国語)	[中国] 曲阜師範大学、 西北大学(H28)、 寧波大学(H29)、 西北大学(H30)	3月	2週間	あり	人社	20	5	11	13	/	/
課題解決型国際研修 (英語)シンガポール	[シンガポール] カーティン大学(豪) シンガポール校	9月	2週間 (+国内 研修)	あり	人社	15	18	/	/	/	/
課題解決型国際研修 (英語)カナダ	[カナダ] オカナガン大学	3月頃	3週間	あり	全学	20	/	/	/	/	/
課題解決型国際研修 (フランス語)	[フランス] 西部カトリック大学	2-3月 8-9月	3週 or 6週	あり	人社	数名	2	2	/	/	/
日本語教育実習	[中国] 寧波大学	3月頃	2週間	あり	教育	10	7	7	/	/	/
漢文学実地研修	[中国] 国語の教科書に 出てくる場所など (寧波大学)	9月頃 または 3月頃	10日	あり	教育	5	9	2	/	/	/
ブアン・プログラム (英語教育実習)	[タイ] タイ国内中学校等 (サイアム大学の仲介)	1月	2週間	あり	教育	7	5	6	6	/	/
ブアン・プログラム (数学教育実習)	[タイ] パンヤピワット運営 大学附属中等学校	1月	2週間	あり	教育	4	4	4	4	/	/
English Language Institute Iwate Program (語学留学)	[アメリカ] ノース・セントラル・ カレッジ	8月	17日間	なし	教育 他	20	/	/	/	/	/
理工学部国際研修	[カナダ] ブリティッシュ・ コロンビア大学 ELI [アメリカ] ドミニカン大学 ELS	8月頃	4週間	あり	工学 2年・ 3年 院生	10	13	14	3	/	/
ハンバット国立大学校 交流研修	[韓国] ハンバット大学校	11月 頃	5日間	なし	工学 院生	4	11	10	10	/	/

プログラム名	派遣地域・大学	派遣時期	派遣期間	単位認定	参加資格	定員	派遣実績				
							H29	H30	R1	R2	R3
将来の農学・獣医学を担うグローバルリーダー養成プログラム (オーバン大学)	[アメリカ] オーバン大学	9月	2週間	あり	農学	3	2	3	4		
将来の農学・獣医学を担うグローバルリーダー養成プログラム (サスカチュワン大学)	[カナダ] サスカチュワン大学	9月	3週間	あり	農学	14	14	13	13		
海外の森林・林業とフォレスター研修プログラム	[ドイツ] ロッテンブルク大学	9月	10日	あり	農学	10	12	13	8		
タイ王国国際インターンシップ	[西アジアを除くアジア各地域]日系現地法人	8月頃	2~4週間	あり	工学 2年・3年 院生	数名	0	6	5		
理工学研究科研究インターンシップ	[カナダ] サスカチュワン大学ほか	8月頃	2~4週間	あり	工学 院生	数名	4	3	2		
日本語教育実習インターンシップ	[タイ] サイアム大学	2~3月	2週間	なし	全学	2	2	0	1		
連合農学研究科研究インターンシップ	[カナダ] サスカチュワン大学ほか	8月頃	2~4週間	あり	農学 院生・連大 院生	数名	7	4	5		
					計	247	151	170	115		

令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により全プログラム中止

報告:国際課

岩手大学外国人留学生地域派遣実績一覧

派遣先	派遣日程	派遣留学生数	出身地別	交流の内容
フレンズ国際愛児園	7月9日	1	タイ	お国紹介、園児との交流
平庭観光開発	12月26日～ 28日	4	中国	体験活動、語学交流
盛岡青年会議所	7月19日	1	ベトナム	国際社会創造事業 Stop!Global Warming への開催(オンライン)
みやこ映画生活協同組合	11月13日	3	マレーシア	シネマデアエル上映会の参加(オンライン)
岩手県立水沢高等学校	12月16日	3	中国、インド、タイ	理系留学生と高校生の交流
フレンズ国際愛児園	7月9日	1	タイ	お国紹介、園児との交流
平庭観光開発	12月26日～ 28日	4	中国	体験活動、語学交流

報告: 国際課

トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム 岩手大学の採択状況

平成 26 年度(第 1 期)

申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
自然科学系、複合・融合系人材コース	4名	3名	2名
新興国コース	1名	0名	0名
世界トップレベル大学等コース	1名	0名	0名
多様性人材コース	3名	0名	0名
計	9名	3名	2名

平成 27 年度前期(第 2 期)

申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
自然科学系、複合・融合系人材コース	2名	2名	1名
新興国コース	1名	0名	0名
世界トップレベル大学等コース	1名	0名	0名
多様性人材コース	0名	0名	0名
計	4名	2名	1名

平成 27 年度後期(第 3 期)

申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
自然科学系、複合・融合系人材コース	3名	3名	1名
新興国コース	0名	0名	0名
世界トップレベル大学等コース	1名	0名	0名
多様性人材コース	1名	0名	0名
計	5名	3名	1名

平成 28 年度前期(第 4 期)

申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
理系、複合・融合系人材コース	2名	1名	0名
新興国コース	0名	0名	0名
世界トップレベル大学等コース	0名	0名	0名
多様性人材コース	0名	0名	0名
計	2名	1名	0名

平成 28 年度後期(第 5 期)

申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
理系、複合・融合系人材コース	5名	3名	2名
新興国コース	0名	0名	0名
世界トップレベル大学等コース	0名	0名	0名
多様性人材コース	0名	0名	0名
計	5名	3名	2名

平成 29 年度前期(第 6 期)

申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
理系、複合・融合系人材コース	1名	1名	1名
新興国コース	0名	0名	0名
世界トップレベル大学等コース	0名	0名	0名
多様性人材コース	1名	1名	1名
計	2名	2名	2名

平成 29 年度後期(第 7 期)

申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
理系、複合・融合系人材コース	3名	2名	1名
新興国コース	0名	0名	0名
世界トップレベル大学等コース	0名	0名	0名
多様性人材コース	0名	0名	0名
地域人材コース	5名	5名	5名
計	8名	7名	6名

平成 30 年度前期(第 8 期)

申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
理系、複合・融合系人材コース	2名	1名	1名
新興国コース	0名	0名	0名
世界トップレベル大学等コース	0名	0名	0名
多様性人材コース	0名	0名	0名
計	2名	1名	1名

平成 30 年度後期(第 9 期)

申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
理系、複合・融合系人材コース	4名	3名	2名
新興国コース	0名	0名	0名
世界トップレベル大学等コース	0名	0名	0名
多様性人材コース	3名	2名	2名
地域人材コース	4名	3名	3名
計	11名	8名	7名

令和元年度前期(第 10 期)

申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
理系、複合・融合系人材コース	0名	0名	0名
新興国コース	2名	1名	0名
世界トップレベル大学等コース	0名	0名	0名
多様性人材コース	1名	0名	0名
計	3名	1名	0名

令和元年度後期(第 11 期)

申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
理系、複合・融合系人材コース	2名	2名	1名
新興国コース	1名	0名	0名
世界トップレベル大学等コース	0名	0名	0名
多様性人材コース	1名	0名	0名
地域人材コース	5名	5名	5名
計	9名	7名	6名

令和 2 年度前期(第 12 期)

申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
理系、複合・融合系人材コース	1名	1名	1名
新興国コース	0名	0名	0名
世界トップレベル大学等コース	0名	0名	0名
多様性人材コース	0名	0名	0名
計	1名	1名	1名

令和2年度後期(第13期)

申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
理系、複合・融合系人材コース	1名		
新興国コース	2名		
世界トップレベル大学等コース	0名		
多様性人材コース	0名		
計	3名		

新型コロナウイルス感染症の影響により、プログラム中止

令和3年度前期(第14期)

申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
理系、複合・融合系人材コース	1名	1名	1名
新興国コース	0名	0名	0名
世界トップレベル大学等コース	0名	0名	0名
多様性人材コース	0名	0名	0名
計	1名	1名	1名

2021年度中の派遣留学生の募集(2022年度派遣)は行われなかった。

報告:国際課